

# 第 2 3 回 しずおか川自慢大賞

日時：令和 8 年 2 月 2 8 日（土）  
1 2 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

場所：もくせい会館 1F 富士ホール

主催 しずおか川自慢大賞実行委員会

協力 静 岡 県 河 川 協 会  
昭 和 設 計 株 式 会 社



## 開催にあたり

私たちは、「川づくりは、まちづくり」だと信じています。

川は、流域という川ごとに独立したエリアのなかに位置しています。川は、山と海とをつなぎ、上流、中流、下流のそれぞれの地域をつないでいます。

山から流れる清らかな水は、古くから生き物を育み、私たちの暮らしを支え潤し、また、憩いの場として、時には豊かな遊び場として利用されてきました。周辺の風景とあいまって地域の特徴的な水辺の景観を作り出しています。県内には、今なお川ガキの歓声が響く水辺もあり、地域の宝物となっています。

一方で、時として、川は自然の猛威をふるい、まちに大きな被害をもたらしてきました。気候変動により今後、ますます水災害の危険性は高まっていくとされており、流域に目をむけた多くの取組が必要になっています。

こうしたことから、川は、まちの「いのち」そのものだと言えます。

流域に住む1人ひとりが、生物や環境、水害などの川が持っているいろいろなところに関心を寄せることに始まり、川での主体的な活動が続けられると、様々な場面で新たな対話が生まれます。活動する方々が元気はつらつであればあるほど、そこには更に人が集まり、まち全体が活気で満たされていきます。老若男女、多くの人たちが川に集い、笑顔で活動が続けていけることは、川を介したひとづくりにもつながり、まちの財産になっていきます。

このため、私たちは、現在、水辺で活動する多くのみなさんの水辺を愛でる熱い思いに敬意を添えて、笑顔が絶えない活動が末永く続き、更に充実した取組になっていくよう大きな期待を寄せています。

また、今の子どもたちが成長し、その次の世代の子どもたちが、私たちの身近にずっとある川で、キラキラとした水しぶきを上げはしゃぐ様子、それを見守る大人たちも含めたみんなの笑顔で満ち溢れている水辺の景色を想像してください。そんな景色を未来に伝え残したくはないですか!?

### **いのちの川に、みんなの笑顔を！**

私たちは今、この川で活動している方々を心の底から応援していきます。

令和8年2月28日

しずおか川自慢大賞 実行委員会  
会 長 長橋 孝行



## 「しずおか川自慢大賞」これまでの歩み

第1回	平成13年10月27日	参加数 14	大賞：レル・オンジュ 「吉田川・軍田ヶ谷川の自然観察」
第2回	平成14年10月26日	参加数 18	大賞：富士市立今泉小学校4年生 「ぼくらの友だち田宿川」
第3回	平成16年1月17日	参加数 22	大賞：大井川みずがきネットワーク 「大井川みずがき倶楽部」
第4回	平成17年1月29日	参加数 15	大賞：静岡みずがき倶楽部 「こんなに育ちました」
第5回	平成18年2月25日	参加数 18	大賞：焼津水産高校2年 成島弘国「薮田川カワバタモロコの保護活動」
第6回	平成19年2月18日	参加数 14	大賞：大井川町立大井川南小学校 「すごいぞ土合川！」
第7回	平成20年2月16日	参加数 16	大賞：大井川町立大井川南小学校 「大好き、大井川！」
第8回	平成21年2月21日	参加数 14	大賞：静岡県立静岡農業高等学校 「安倍川水系の恵み ワサビ を守る」
第9回	平成22年2月20日	参加数 12	大賞：焼津水産高等学校「トラフグの種苗生産、放流による地域への貢献」
第10回	平成23年2月26日	参加数 13	大賞：佐鳴湖の環境を考える会「佐鳴湖自慢」
第11回	平成24年2月25日	参加数 13	大賞：袋井市立今井小学校「太田川たんけんたい」
第12回	平成25年2月24日	参加数 13	大賞：静岡市立西奈南小学校 学校応援団父親楽校「長尾川★せいそう隊」
第13回	平成26年2月22日	参加数 12	大賞：みずがき倶楽部 「子ガメとみずがきの不思議な冒険」
第14回	平成27年2月22日	参加数 8	大賞：坂口谷川 花と芝生を守る会「坂口谷川の環境美化活動」
第15回	平成28年1月30日	参加数 9	大賞：牧之原市立勝間田小学校「勝間田大好きたんけん隊」
第16回	平成29年2月18日	参加数 9 + 2 (交流枠)	大賞：みずがき倶楽部「少年の原体験が世界を変える」
第17回	平成30年2月17日	参加数 9 + 1 (交流枠)	大賞：いはらの川再生PJ会 「いはらの川再生プロジェクト～ふるさとのニホンウナギを救え！ 庵原から日本、そして世界へ！」
第18回	平成31年2月2日	参加数 9 + 1 (交流枠)	大賞：昆虫食倶楽部「とって食べる」
第19回	令和2年2月22日	参加数 8 + 1 (特別告知)	大賞：静岡北高等学校 科学部水質班「水と石ころで作る未来のエネルギー」
第20回	令和5年2月11日	参加数 9 + 1 (特別賞)	大賞： カチカチ鳥 「集まれ！飛びたて！カチカチ鳥にな～あれっ！」
第21回	令和6年2月10日	参加数 10	大賞：仁杉・柴怒田ビオトープの会 「ビオトープを通して、地元の自然を守ろう」
第22回	令和7年2月23日	参加数 9	大賞：瀬名新川★生き物助け隊 「小さな河川の河床掘削工事後に、子どもたちやっ た水辺の小さな自然再生による多自然川づくり」

# 1 川自慢大賞の基本姿勢

- 県内各地でさまざまな活動をしている団体や個人を知り、お互いの活動にエールを送り、たたえあい、今後の活動の励みとし、活動がつながるきっかけとする。
- 今一度、静岡の川や水辺の良さを見つめなおそう！

- 第10回までは、選考委員や会場の方々による話し合いによって、多くの賛同を得た活動を「大賞」としてきました。あえて大賞を選考した目的は、大賞の選考の過程を通して各活動の内容を浮き彫りにし、広く多くの方々にその活動のすばらしさを伝えるためのものでした。しかし、実際には、主に大賞を取れなかった団体や個人には落胆の気持ちがありました。
- その為、本来「どの活動にもエールを送り、更なる躍進を目指してもらいたい。また、この会場に集ってくれたみんなの交流の場であってほしい」という趣旨がなかなか理解されない結果になることもありました。
- 第11回（2011年2月開催）から、本来の趣旨をより理解していただくために、キャッチコピーを一新。「川のおもしろさ再発見、仲間の楽しさ大発見！！」としました。
- 第15回からは、第14回から用いている「イイね!」を入れたフレーズを採用。「イイね!その川 川でつながる地域の元気!! もっと×2 川で遊ぼう!」とし、活動の良さを認め合い、川（水辺）つながりで地域・みんなの元気を引き出しますことを、川自慢の取り組みの大きな目的であることを表現しました。
- 川自慢大賞の進行には、交流をはかる時間（交流タイム）を設けています。6分間の発表では伝えきれない素敵な活動に改めてスポットをあて、内容や話題を掘り下げるものです。今回は、みんなで仲間の活動の良いところをほめたたえ合い、交流をはかりたいと思います。
- 川自慢に参加してくれる方々は、お子さんから大人まで幅広い年代です。元気な子どもたちの活動には、「長沢賞」、子どもの元気に負けないぞという大人の活動には「ふるがき賞」＝昔、水で遊んでいたがき（やんちゃな子どもの愛称）だったでしょう…。初めて川自慢に参加してくれた団体（ニューフレンズ）のなかから、「新人賞」を贈ります。（贈り先は、川自慢御意見番（アドバイザー）にて決めます。）
- 「長澤賞」とは、これまでのしずおか川自慢大賞に多大な協力をいただきくとともに、子どもたちへ川とのふれあいの大切さを伝えつづけ、他界された長澤友香先生の思いを次世代に伝えるために第18回から命名した賞です。
- 協賛の静岡県河川協会から、協会の取組目的（河川に関わる防災・減災、河川愛護など）に合致する優れた取り組みを表彰する「清流賞」が、今回新設されました。
- 賞」は会場にいる人全員で「応援投票」を行って決めます。全員3票持って、色の違う3つの票はそれぞれ“発表や取り組みが、最高だった!”、“新しい発見! 勉強になって、すばらしかった!”、“一緒に活動してみたい、参加してみたい、すてきな活動”のテーマで、「私はこの活動の応援団になりますよ～」という気持ちの表明として投票してもらいます。  
➤ 「会場からの応援を一番多く集めましたでしょう」＝「大賞」ということになります。
- しずおか川自慢大賞は、今回も、当日、WEBによるライブ配信を行います。

Youtube LIVE 発信名「第23回しずおか川自慢大賞」

<https://youtube.com/live/OPENb8YEeCw>



## 第23回しずおか川自慢大賞 日程（令和8年2月28日）

会場：もくせい会館 1F 富士ホール

時 間	内 容
12：00	開場・受付（富士ホール入口） （アイスブレイク）
12：30	<b>開 会</b> 主催者あいさつ
12：35 ～12：50	<b>オリエンテーション</b> （本日のスケジュール、趣旨、投票方法の説明等）
12：50 ～13：50	発表1（6団体：発表6分・質疑応答3分・片付け1分） <b>※発表時間厳守</b>
13：50 ～13：55	休 憩（5分間）
13：55 ～14：45	<b>発表2</b> （5団体：発表6分・質疑応答3分・片付け1分） <b>※発表時間厳守</b>
14：45 ～14：50	休 憩（5分間）
14：50 ～15：20	交流タイム（30分間） ・参加団体の活動、意見等交換・交流 ・アピールタイム＆各団体へのエール
15：20 ～15：30	「最高！」「素晴らしい！」「素敵！」 応援投票（投票説明 応援エール票（付箋）配布＆投票、集計）
15：30 ～15：45	・ネーミング賞発表（全ての発表団体に「〇〇賞」）
15：45 ～16：20	<b>しずおか川自慢大賞の決定</b> ・投票結果発表・表彰 ふるがき賞 長 澤 賞 新 人 賞 清 流 賞 しずおか川自慢大賞
16：20 ～16：25	記念撮影
16：30	<b>閉 会</b> （閉会のあいさつ（総評））

No	団体名	河川名	テーマ
1	みずがき倶楽部	静岡の溪流、清流や海 (藁科川、大井川、伊豆 半島など)	眉毛があがり、心がさわぐ！ (その笑顔が地球を救う！)
2	昆虫食倶楽部	新川(佐鳴湖)他	ガチ！生物多様性塾
3	東海大学 水棲環境研究会	静岡県内河川	水棲研活動紹介！～定点調査編～
4	静岡北高等学校 科学部 魚班	巴川水系	巴川水系における在来種、外来種の地理的分布
5	静岡北高等学校 科学部 山村悌公	巴川水系	静岡県内で提唱されるトウヨシノボリ池沼型の生態
6	富士市河川課	富士川 富士早川など	流域治水をより身近に
7	静岡県富士土木事務所 工事課 富士宮班	神田川	地域に愛される川に ～ 世界に誇る神田川 ～
8	第二ピアサービス株式会社	天竜川下流	天竜川下流ブロックेशन®
9	静岡理工科大学 水域環境学研究室	麻機遊水地第3工区 (巴川水系)	麻機遊水地(第3工区)におけるナガエツルノゲイトウの成 長の定量化および切断に至るメカニズムの検証
10	常葉大学 麻機ナガエバスターズ	浅畑川 (巴川水系)	特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の駆除活動
11	東海大学 海中美化プロジェクト	三保の海ほか	深海のロマン？ 水深1mがあなたにとっては深海かも。



## 最終選考方法

① 川自慢大賞は、発表の内容を踏まえ、投票により決定します。

発表者を含む来場者、キャスト（運営スタッフ）が各3 票を持ち、エールを贈りたい3 団体に「最高！」「素晴らしい！」「素敵！」を投票します。

- ・発表や取り組みの内容 最高だった。（きみどりの付箋）
  - ・新しい発見、勉強になって、すばらしかった。（みずいろの付箋）
  - ・一緒に活動してみたい参加してみたい、すてきな活動だった。（ピンクの付箋）
- エール数を集計し、最多得票獲得団体を川自慢大賞に決定します。

② 参加したすべての団体に、特徴を表す名称をつけて表彰します。

### <川自慢大賞の視点>

応募団体（個人も含む）の活動の長所を評価し、短所は減点の対象としない。

項 目	内 容
保全・復元のための努力・研究	良い川を保全する努力または昔の良い川に復元するための努力
川と地域づくりの推進	地域の交流・連携、子供たちへの環境教育など川を活用した様々な精力的な活動
継続・継承による素敵な未来への展望	世代を超えて継承される継続的な活動など素敵な未来像を展望できる活動
生き生き、はつらつとした活動	子供、大人を問わず、生き生き、澁刺とした楽しい活動
ユニークな視点・斬新な発想	良い川づくり、川の活用において、ユニークな視点や斬新な着想・発想
プレゼンテーション その他	川自慢大賞の発表におけるプレゼンテーションの良いところ

## 特別賞の選考方法

### ① 『長 澤 賞』

対 象： 生き生き、ハツラツとした子供の活動（子供主体の団体が対象）

### ② 『ふるがき賞』

対 象： 童心を忘れない大人の活動（大人主体の団体が対象）

### ③ 『新 人 賞』




対 象： 今回、初参加の発表団体のこれからの活動の広がりに期待するもの

### ④ 『清 流 賞』

対 象： 静岡県河川協会の取組目的（河川に関わる防災・減災、流域治水の推進、河川愛護など）に合致する優れた取り組み

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	静岡県の素敵な川や溪流 (安倍川、藁科川、興津川など)				
所在地	静 岡 県                      静 岡 市				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		みずがき倶楽部		
	連絡先	住所	〒422-8071 静岡市 駿河区 豊原町 3-13-1		
		TEL	090-4448-3259	FAX	なし
		E-mail	mizugakiandy3259@yahoo.co.jp		
		ホームページURL	みずがき倶楽部 で検索を		
		連絡者名	安藤 一整		
		TEL	090-4448-3259	FAX	
テーマ又は 事業名など	眉毛があがり、心がさわぐ！ (その笑顔が地球を救う！)				
活動期間	2000年 ～                      この笑顔が地球を救う！				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 (                      )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 (                      )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動					
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディーラフティング、リバートレッキング、砂金掘り、シャワークライミングなど四季おりおりのプログラムで楽しく自然体験</li> <li>・少年には少年にしかできない体験を！</li> <li>・危険は避けるのではなく正しく学び正しく対処！</li> <li>・自然の中で楽しかった原体験がやがて環境を守る力に！</li> <li>・26年間継続し、卒業した子供たちが新たなリーダーに！</li> </ul> <div style="text-align: right;">   ♪アンディ♪ </div>				
活動紹介キーワード (5点まで)	(本物の自然体験) (命の尊さ) (子供の自主性) (思いやりと助け合い) (ボランティアによる運営)				
活動場所の見取図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">でカヌー体験</div>  </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボディーラフティング</div>  </div> </div>				
	・発表者人数 (大人 5名・子供10名) ・交通手段 (                      バス                      )				



# みずがき倶楽部



所在地

静岡市

宝の川を救おう！

団体名 みずがき倶楽部

エントリーNo



## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	新川（佐鳴湖）他 （ 都田 川水系）				
所在地	静岡県		浜松市・町・村		
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		昆虫食倶楽部		
	連絡先	住所	〒 430-0906 浜松市中央区住吉5-10-15		
		TEL	090-9900-0928	FAX	
		E-mail	<a href="mailto:tottetaberu@gmail.com">tottetaberu@gmail.com</a>		
		ホームページURL	<a href="https://torutabe.hamazo.tv/">https://torutabe.hamazo.tv/</a>		
		連絡者名	夏目恵介		
		TEL	090-9900-0928	FAX	
テーマ又は 事業名など	ガチ！生物多様性塾				
活動期間	12 年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日 5月～11月の期間で、月数回種フィールドワークを開催しています ホームページでチェックお願いします		イベント名、概要 ガチ！生物多様性塾 いろいろなフィールドワークをとおして、生物多様性を体験しながら学ぶ講座です		
アピールポイント	川で生物捕獲をしながら川の役割を学ぶ「ガサガサフィールドワーク」、里山を歩きながら里山の特色や機能について知る「里山フィールドワーク」、外来種捕獲体験をすることで外来種問題について考える「外来種フィールドワーク」など、身近な自然の中で五感で感じるフィールドワークを開催します。専門家による講義や、参加者とのグループディスカッションをとおして、知識や自分の意見を深めます。1年の最後には、プログラムをとおして学んだこと、自分で調べたことを発表する「受講生によるプレゼン大会」で締めくくります。				
活動紹介キーワード (5点まで)	( 生物多様性 ) ( ネイチャーポジティブ ) ( 探究活動 ) ( ディスカッション ) ( プレゼンテーション )				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数 (大人 1名・子供 2名) ・交通手段 ( 自動車の予定 )				

# ガチ！生物多様性塾

by 昆虫食倶楽部

生物多様性とは**なに**か？**なぜ**守るのか？  
**どう**やったら守れるのか？

フィールドワーク、専門家による講義、グループディスカッション、プレゼンなどを通して、生物多様性を体験しながら考え、学ぶ講座です



外来種フィールドワーク



グループディスカッション



受講生によるプレゼン大会



## ○2025年のプログラム○

- ・土壌動物フィールドワーク
- ・ガサガサフィールドワーク
- ・外来種フィールドワーク
- ・森林フィールドワーク
- ・夜の昆虫観察会
- ・調べ学習ワークショップ
- ・ダーウィン講演会
- ・プレゼン準備会
- ・受講生によるプレゼン大会



詳細は報告書を  
ご覧ください

2026年の参加申込み受付中！

ふりがな 河川名	しんかわ（都田川水系） 新川（佐鳴湖）他	ポイントとなるキーワード（5点以内）
		生物多様性 ネイチャーポジティブ
所在地	静岡県浜松市	探究活動 自然体験 ディスカッション
応募者名 所 属	夏目恵介 昆虫食倶楽部	（記入不要）エントリーNo.

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	いはらかわ しおだかわ あさはたゆうすいち よしだかわ 庵原川・塩田川・麻機遊水地・吉田川				
所在地	静岡県 静岡市・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		東海大学 水棲環境研究会		
	連絡先	住所	〒424-0902 静岡市清水区折戸 3 丁目 20-1		
		TEL		FAX	
		E-mail			
		ホームページURL	—		
		連絡者名	澁谷 柚月		
		TEL		FAX	
テーマ又は 事業名など	水棲研活動紹介！～定点調査編～				
活動期間	1998年 ～				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナーシップ / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 (大学生)				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日 11月の第一週土日に開催される学 祭		イベント名、概要 静岡県内の水圏生物の環境再現水槽を 展示します！		
	<p>アピールポイント</p> <p>日本全国から集まった東海大生のサークルです。淡水魚をメインに、静岡県の川、海、山などいろいろなフィールドに出て生き物の調査研究を行っています。部員それぞれが興味のある生き物を追いかけて毎日走り回っています。その中で生き物が住んでいる環境について身をもって学び、保全活動にも取り組んでいます。サークルの活動としてボランティアにも多く参加させていただき、地域の方々や子どもたちとの交流を通して生き物好きの輪を広げています！</p>				
活動紹介キーワード (5点まで)	(定点調査) (環境再現) (フィールド探求) (ボランティア) (生き物採集)				
活動場所の見取図	 <p style="text-align: right;">Googl Map</p>				
発表者人数等	・発表者人数 (大人 5名・子供 名) ・交通手段 ( 車 )				



# 水棲研活動紹介！～定点調査編～



毎月第二日曜日に静岡市内の四か所の河川と池で定点調査を行っています！  
さまざまな環境にいる魚と触れ合い、フィールドへの理解度が高まります。  
部員みんな仲良く活動しています！

ふりがな 河川名	(水系) 庵原川・塩田川・麻機遊水地・ 吉田川	ポイントとなるキーワード (5点以内)
		定点調査・ボランティア・生き物採集 環境再現・フィールド探求
所在地	静岡県 静岡市	
応募者名 所 属	澁谷柚月 東海大学水棲環境研究会	(記入不要) エントリーNo.

# 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	巴川水系				
所在地	静岡県				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		静岡北高校 科学部魚班		
	連絡先	住所	〒424-0911 静岡市葵区瀬名五丁目14番1号		
		TEL	054-261-5801	FAX	054-262-5573
		E-mail	tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp		
		ホームページURL	https://shizukita.jp/senior/		
		連絡者名	塚越 汐里		
		TEL	同上	FAX	同上
テーマ又は 事業名など	巴川水系における在来種、外来種の地理的分布				
活動期間	2023年～				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	児童生徒研究発表会				
アピールポイント	巴川水系の水生生物の採集だけでなく、河川のCOD（化学的酸素要求量）を測定し、環境要因の1つである水質が外来種の分布に影響しているかを科学的に検証しました。さらに、採集地点の標高も調査し、複数の環境要因を組み合わせる調査を行いました。採集データと文献調査を通して、外来種が生息する条件を明らかにすることができました。本研究は、2025年12月にタイで開催された高校生の研究発表会でも発表する機会をいただき、国際的な場で成果を共有しました。				
活動紹介キーワード (5点まで)	巴川水系、地理的分布、在来種、国外外来種				
活動場所の見取図	 <p>             巴川・・・T1,T2,T3,T4              麻機遊水地・・・A1,A2              長尾川・・・N1,N2,N3              瀬名新川・・・Senashin              継川・・・Mama              塩田川・・・Shioda         </p> <p>             ●：流水域(河川)              ■：止水域(遊水地)         </p>				
	・発表者人数 (大人 名・子供 8名) ・交通手段 ( )				





# 巴川水系における 在来種と外来種の地理的分布

Keywords  
巴川水系, 外来種, 地理的分布, 標高, 水質

在来種と外来種の  
分布域が明らかに?!

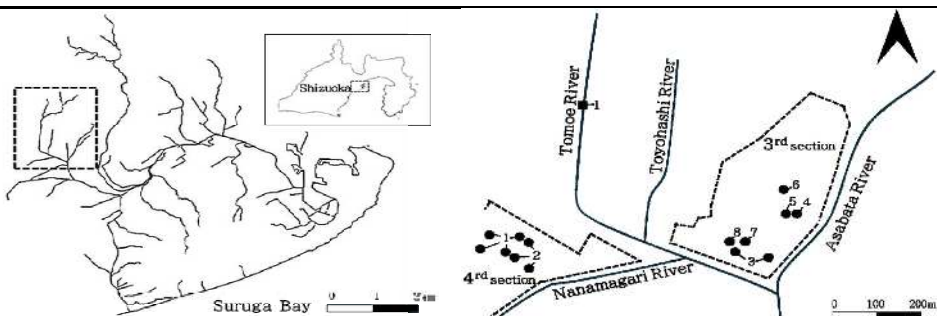
外来種が生息する  
条件は??

在・外来種と水質、  
標高の関係は??

ふりがな 河川名	(ともえがわ水系) 巴川水系	ポイントとなるキーワード (5 点以内) ・ 巴川水系    ・ 外来種    ・ 地理的分布 ・ 標高    ・ 水質
所在地	静岡県    静岡市町村	
応募者名 所 属	静岡北高等学校    山村悌公・増木蔵大・仲澤岳陽・小澤慧大・梅津司・山崎飛虎・百瀬彩菜・森藤大晴・柴響希	(記入不要) エントリーNo.

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	ともえがわすいけい 巴川水系				
所在地	静岡県 葵区瀬名五丁目14番1号				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		静岡北高等学校科学部 山村悌公		
	連絡先	住所	〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名五丁目14番1号		
		TEL	054-261-5801	FAX	054-262-5573
		E-mail	tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp		
		ホームページURL	https://shizukita.jp/senior/		
		連絡者名	塚越 汐里		
		TEL		FAX	
テーマ又は 事業名など	静岡県内で提唱されるトウヨシノボリ池沼型の生態				
活動期間	2024~2025				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナーシップ / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動					
アピールポイント	<p>静岡県内で提唱されるトウヨシノボリ池沼型の分類は未だ不明確になっています。というよりも、トウヨシノボリ全体の分類が複雑化されており、系統関係の整理整頓が未だ完璧ではありません。そんな中、地元である麻機で採取を行っていた際、未知なことの多いトウヨシノボリ“池沼型”に出会い、調べてみたいと思うようになりました。</p> <p>前回の川自慢ではご清聴して頂いた皆様にヨシノボリの魅力を紹介することが出来ました。しかし、その魅力もほんの一部に過ぎません。そこで、今回はトウヨシノボリを初めヨシノボリ属について少しでも興味を持ってもらえるよう全力で紹介していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。</p>				
活動紹介キーワード (5点まで)	巴川水系、麻機地区、ヨシノボリ属、トウヨシノボリ“池沼型”、産卵				
活動場所の見取図	 <p>*上記の図に明記されている地点以外にも採取を行った。</p>				
	・発表者人数(大人 名・子供 1名) ・交通手段(自転車)				



静岡県内で提唱される  
*Rhinogobius* sp. OR f. P  
**トウヨシノボリ池沼型**  
の生態について  
Keywords  
巴川水系, 麻機地区, ヨシノボリ属, トウヨシノボリ“池沼型”, 産卵



ヨシノボリ  
を食べる?!

トウヨシノボリの  
孵化に成功!!

孵化映像





池沼型の成長サイクル



ふりがな 河川名	(ともえがわ水系) 巴川水系	ポイントとなるキーワード (5点以内)
		・ 巴川水系 ・ 麻機地区 ・ ヨシノボリ属 ・ トウヨシノボリ “池沼型” ・ 産卵
所在地	静岡県 静岡市町村	
応募者名 所 属	静岡北高等学校 ヨシノボリ班 山村悌公	(記入不要) エントリーNo.

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	富士川、富士早川など ( 富士川水系 )				
所在地	静岡県 富士市・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		富士市 建設部 河川課		
	連絡先	住所	〒417-0847 富士市永田町1丁目100番		
		TEL	0545-55-2834	FAX	0545-51-0360
		E-mail	<a href="mailto:yamamoto_masamine@st.city.fuji.shizuoka.jp">yamamoto_masamine@st.city.fuji.shizuoka.jp</a>		
		ホームページURL		—	
		連絡者名		山本 雅峰	
	TEL		FAX		
テーマ又は 事業名など	流域治水をより身近に				
活動期間	年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日		イベント名、概要		
アピールポイント					
活動紹介キーワード (5点まで)	( 河川美化 ) ( 河川愛護 ) ( 地域伝承 ) ( 浸水防災 ) ( )				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数 (大人 1名・子供 名) ・交通手段 ( 電車 )				

様式 2 発表用パネルフォーマット



流域治水は  
身近なことだと  
知ってもらいたい

ふりがな 河川名	( 富士川水系) 富士川、富士早川など	ポイントとなるキーワード (5 点以内)
所在地	静岡県 富士市	地域伝承 河川美化 河川愛護 浸水防災
応募者名 所 属	山本雅峰 富士市役所 建設部 河川課	(記入不要) エントリーNo.



## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	一級河川神田（かんだ）川（富士川水系）				
所在地	静岡県 富士宮市				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		静岡県富士土木事務所		
	連絡先	住所	〒418-0034 静岡県富士宮市黒田350の14 (富士土木事務所 富士宮分庁舎)		
		TEL	0544-27-1111	FAX	0544-27-1198
		E-mail	<a href="mailto:toshiva1_tanaka@pref.shizuoka.lg.jp">toshiva1_tanaka@pref.shizuoka.lg.jp</a>		
		ホームページURL	<a href="https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/dobokujimusho/fujidoboku/index.html">https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/dobokujimusho/fujidoboku/index.html</a>		
		連絡者名		田中 寿弥	
	TEL	0544-27-1111	FAX	0544-27-1198	
テーマ又は 事業名など	地域に愛される川に～世界に誇る神田川～				
活動期間	平成2年度 事業開始				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 <input checked="" type="checkbox"/> 用水路 <input type="checkbox"/> 湖沼 <input type="checkbox"/> ダム <input type="checkbox"/> 河口・干潟 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 海外部門 <input type="checkbox"/>				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 <input type="checkbox"/> 学校主導 <input type="checkbox"/> パートナースhip <input type="checkbox"/> 行政主導 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/>				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども <input type="checkbox"/> 大人 <input type="checkbox"/> 行政 <input checked="" type="checkbox"/> 専門家 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/>				
みんなに来てもらいた いイベント	開催日(主催者) ・毎年3月上旬(富士養鱒漁業協同組合) ・毎年8月上旬		イベント名、概要 ・富士宮ますつり大会 ・富士山御神火まつり		
アピールポイント	昔から、良好な水質で美しい清流であることから、富士宮市のまちづくりに欠かせない役割を担っていた神田川。 昭和から平成の初頭にかけては都市化が進み、水際は人工的な景観で形成され、市民と河川の関わりが希薄な状態になってしまいました。 かつての、自然豊かで地域と密接なかかわりのある河川を取り戻し、市民の憩いの場や活動の舞台となるような空間を創出すべく、河川整備を行いました！				
活動紹介キーワード (5点まで)	(親水施設の整備) (富士山大沢産の巨石積護岸) (曲線的な河川線形)				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数(大人 1名・子供 0名) ・交通手段( 電車・徒歩 )				

### 地域に愛される川に ～世界に誇る神田川～

■背景

一級河川神田川は、水質は良好、清澄で「平成の名水百選」にも認定されている。その昔は浅間大社へ参拝者等が禊をし、蛍が舞う等、自然豊かな地域と密接な関わりをもつ河川であった。

しかし、昭和から平成の初頭にかけて都市化が進み、水際は人工的な景観で形成され、市民と河川の関わりが希薄な状態になってしまった。

明治時代

昭和初期

平成初期

かつての自然豊かな川を取り戻し、市民の憩いの場となるような空間の整備を！！

■景観に配慮した河川整備の取組

- ・流速が緩く背後地に公園整備がされている区間へ親水施設を設置
- ・河川線形は直線を嫌い、曲線を多用
- ・護岸構造は岩組工とし、巨石は景観的に優れた富士山の大沢石を採用

【ふれあい空間ゾーン】

H. 3 頃

R. 7

御神火まつり

ます釣り大会

清掃活動

市民や来訪者の憩いの場へ！活動の舞台へ！

写真：富士宮市 HP より

梅花藻

【参道軸創出ゾーン】

H. 13 頃

R. 7

自生植物の生育・定着、緑化空間を創出！


現在では川のせせらぎが心地よく、潤いと安らぎを提供する河川空間へと生まれ変わっている！

ふりがな 河川名	かんだがわ(富士川水系) 一級河川神田川	ポイントとなるキーワード(5点以内)
所在地	静岡県富士宮市	・親水施設の整備・曲線的な河川線形 ・富士山大沢産の巨石積護岸
応募者名 所属	静岡県富士土木事務所	(記入不要)エントリーNo.

21

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	天竜川下流				
所在地	静岡県浜松市中区河輪町				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		第二ピアサービス株式会社		
	連絡先	住所	〒466-0022 名古屋市中区昭和区塩付通7丁目15番地3		
		TEL	070-8385-9416	FAX	
		E-mail	<a href="mailto:doo@sepeer.online">doo@sepeer.online</a>		
		ホームページURL	<a href="https://www.sepeer.online/">https://www.sepeer.online/</a>		
		連絡者名	代表取締役 尾藤文人		
		TEL	070-8385-9416	FAX	
テーマ又は 事業名など	天竜川下流ブロックेशन®				
活動期間	2025年4月～				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナリシップ / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	ワークショップ				
アピールポイント	ブロックेशन®は住民、行政、民間事業者などの間で共通認識を醸成し、「流域治水」に向けた官民連携を促進する有効な手段となることが期待されます。当社では既に中部地方の各地でブロックेशन®のワークショップを行っており、市民団体、教育機関、メディアと連携し「流域治水」に向けた取組を実践しています。				
活動紹介キーワード (5点まで)	ブロックेशन®、流域治水、官民連携、合意形成、Block+ Education				
活動場所の見取図					
	・発表者人数 (大人1名・子供 名) ・交通手段 (JR)				



# ブロックーション® Block + Education

全国各地で発生する深刻な水災害。ブロックを使ったワークショップで「河川」や「道路」といった管轄の垣根を越えて産学メディアが連携し取り組みを進めています。



## ブロックーション®とは? / What is BLOCKATION®?

Block+Education の造語ブロックを使って自身の考えを可視化することで、あらゆる課題について、年齢・性別・立場に関わらず互いの意見を素直に発表しあう新しいコミュニケーション方法です。

※「ブロックーション®」は第二ピアサービス㈱が保有する登録商標です。



## 2025 中部地方産学メディア地域連携による流域治水を「ブロックーション®」する!

ブロックーション®は住民、行政、民間事業者などの間で共通認識を醸成し、「流域治水」に向けた官民連携を促進する有効な手段となることが期待されます。当社ではすでに中部地方の各地でブロックーション®のワークショップを行っており、市民団体、教育機関、メディアと連携し「流域治水」に向けた取り組みを実践しています。

全国・世界から関心が高まっています!

ブロックーション®関連動画の

Youtube 総再生回数 **38万回**

(2026年1月現在) 登録者数 **22万人**

### 【愛・地球博 20 周年記念行事】in ささしま

金城学院大学 HAPPYWOMAN サークルと第二ピアサービス㈱と日本工営㈱が産学地域連携で「ブロックーション®」を通して名古屋の魅力を探検し発信! (令和7年6月30日記者発表)



### 【地方創生 2.0 関連】

～民間主導型「中部地方創生 2.0」試行～ in 浜松

「ブロックを活用した中部地方創生まちづくりワークショップ」としてこれからの天竜川下流域輪地区を「ムーン・フロンティア(探究学習)」! (令和7年3月13日記者発表)



### 【地方創生 2.0 関連】

～小学生向け夏休み特別企画～

「ブロックを活用した中部地方創生まちづくりワークショップ」として、小学生親子を対象にこれからの天竜川下流域輪地区を「ムーン・フロンティア(探究学習)」! (令和7年7月28日記者発表)



### 【愛知県岩倉市産民地域連携】in 岩倉市

市民団体ミズベリィンク岩倉・五栄川と連携し愛知県岩倉市五栄川流域を「ムーン・フロンティア(探究学習)」! (令和7年9月22日記者発表)



合意形成プロセスにおいて  
ブロックーション®が活用できる

課題解決

現実的な対処法の模索

幅広い層による多様な意見交換

コンセンサス・ビルディング

## 流域治水に必要な「合意形成」に寄与する

ブロックーション®の最大のメリット「あらゆる人々が平等に対話できる」ことを活かしてブロックーション®を通して地域多世代交流を促進し、地域全体での「流域治水」に向けた「合意形成(コンセンサス・ビルディング)」へ寄与することも目指しています。


【共催】 第二ピアサービス株式会社、日本工営株式会社  
【協力】 株式会社 PAQLA、静岡大学レゴ部、名古屋大学レゴ部  
【後援】 公益財団法人河川財団名古屋事務所



do@sepeer.online  
**SEPEER Inc.**

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	麻機遊水地（第3工区）（ 巴川水系）				
所在地	静岡県 静岡市・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		静岡理工科大学 水域環境学研究室		
	連絡先	住所	〒静岡県袋井市豊沢2200-2		
		TEL	0538-31-5616	FAX	
		E-mail	<a href="mailto:inami.tomoya@sist.ac.jp">inami.tomoya@sist.ac.jp</a>		
		ホームページURL	<a href="https://www.sist.ac.jp/technology/civilengineering/laboratory/cv-inami/">https://www.sist.ac.jp/technology/civilengineering/laboratory/cv-inami/</a>		
		連絡者名	居波智也		
		TEL	0538-31-5616	FAX	
テーマ又は 事業名など	麻機遊水地（第3工区）におけるナガエツルノゲイトウの成長の定量化および切断に至るメカニズムの検証				
活動期間	2025年5月～2025年12月				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / <u>湖沼</u> / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / <u>その他</u> (研究室)				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / <u>その他</u> (学生)				
みんなに来てもらいたいイベント、活動	開催日	イベント名、概要			
アピールポイント	麻機遊水地は地域の方々の憩いの場になるとともに、遊水地として洪水被害を軽減する防災の役割もあり、地域と様々な形で深く関わっている場所です。そこで蔓延る特定外来生物のナガエツルノゲイトウを調査し、防除に向けた研究活動をしている点。				
活動紹介キーワード (5点まで)	(ナガエツルノゲイトウ) (麻機遊水地) (防除) ( 本気だ ) ( )				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数 (大人 3～5名・子供 名) ・交通手段 ( 公共交通機関 )				



麻機遊水地（第3工区）におけるナガエツルノゲイトウの成長の定量化  
および切断に至るメカニズムの検証

静岡理科大学 理工学部 土木工学科  
水域環境学研究室

麻機遊水地は、憩いの場であるとともに洪水が起きないように調整する場  
でもあり、とても大切な場所です。また、多くの在来生物が生息する生き  
物にとっても大切な場所となります。

撮影に用いたドローン

荷重測定器を使用している様子

2025.5.23  
面積 221.22 m<sup>2</sup>

2025.6.18  
面積 295.22 m<sup>2</sup>

2025.9.25  
面積 594.72 m<sup>2</sup>

2025.10.30  
面積 528.09 m<sup>2</sup>

2025.12.19  
面積 464.66 m<sup>2</sup>

成長率(%)

調査月(月)	成長率(%)
5月23日	25
6月18日	50
9月25日	-10
10月30日	-10

調査月(月)


面積の変化から算出された成長率の推移

ふりがな 河川名	麻機遊水地	ポイントとなるキーワード(5点以内)
		ナガエツルノゲイトウ・特定外来生物・繁茂・本気
所在地	静岡県 静岡市	
応募者名 所 属	水域環境学研究室 静岡理科大学	(記入不要) エントリーNo.

25

## 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	浅畑川 ( 巴川水系)				
所在地	静岡県 静岡市・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		麻機ナガエバスターズ (常葉大学)		
	連絡先	住所	〒		
		TEL		FAX	
		E-mail			
		ホームページURL	-		
		連絡者名	大石 美亜		
		TEL		FAX	
テーマ又は 事業名など	特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の駆除活動				
活動期間	2年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日 不定期		イベント名、概要 ナガエツルノゲイトウの駆除活動 実施場所：浅畑川・麻機遊水地		
アピールポイント	私たちは、「麻機ナガエバスターズ」として、巴川水系浅畑川と麻機遊水地とで特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の駆除活動を行っている。麻機遊水地には湿地特有の植物が生育しており、ミズアオイやタコノアシ、オニバスといった希少な植物も生育している。このままナガエツルノゲイトウの分布が拡大すると、希少な植物に絶滅の危険がある。これを防ぐため、2024年と2025年の2年間で、計12回の駆除活動を行った。さらには、駆除活動だけでなく生態的特性の研究や本種を腐敗させるために泥に埋める実践も行っている。				
活動紹介キーワード (5点まで)	(ナガエツルノゲイトウ) ( 駆除活動 ) ( 浅畑川・麻機遊水地 ) ( 麻機ナガエバスターズ )				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数 (大人 約4名・子供 名) ・交通手段 ( 電車・自転車 )				



ふりがな 河川名	あさはたがわ（巴川水系） <b>浅畑川</b>	ポイントとなるキーワード（5点以内）
所在地	<b>静岡県 静岡市</b>	ナガエツルノゲイトウ，駆除活動，浅畑川・麻機遊水地，麻機ナガエバスターズ，生態的特性
応募者名 所 属	大石 美亜 常葉大学 浅見研究室	（記入不要）エントリーNo.

# 第23回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	三保の海ほか				
所在地	静岡県 静岡県(市)・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		東海大学 海中美化プロジェクト		
	連絡先	住所	〒424-8610 静岡市清水区折戸3丁目20-1		
		TEL	054-334-0411	FAX	
		E-mail	<a href="mailto:Beit3.snoopy@gmail.com">Beit3.snoopy@gmail.com</a>		
		ホームページURL	-		
		連絡者名	満田 かなん		
		TEL	090-8359-6240	FAX	
テーマ又は 事業名など	深海のロマン?水深1mがあなたにとっては深海かも。				
活動期間	2022 年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / <u>その他</u> / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / <u>学校主導</u> / パートナースhip / 行政主導 / <u>その他</u> (学生主導)				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / <u>その他</u> (大学生)				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日 11月の第1週土日に開催される建学祭 夏や冬等の長期休み(仮)		イベント名、概要 日々の清掃活動で回収した海ゴミや海ゴミのリ メイク品、普段の活動の様子の展示、海ゴミを 使ったキーホルダーなどのリメイク体験		
アピールポイント	海が大好きで、海的环境などを守りたいと思っている東海大学生が集まったプロ ジェクト活動です。月に1~2回、海中と海岸で清掃活動をしています。海中は ダイビングで海に潜り、海の中の釣りゴミなどを回収しています。回収した釣り ゴミはおもりの部分を再利用してダイビングで使うウエイトに作り変えるリメイ ク活動にも取り組んでいます。ただゴミを拾って終わりにしないように活動して いるのがポイントです。				
活動紹介キーワ ード(5点まで)	( 海中清掃 ) ( 海岸清掃 ) ( リメイク活動 ) ( 三保 ) ( 景観保全 )				
活動場所の見取図	 				
発表者人数等	・発表者人数 (大人 1 名・子供 名) ・交通手段 ( 公共交通機関 )				



## 海中美化プロジェクトとは??

海中美化プロジェクトでは、月に1～2回海岸と海中を同時に清掃し、海に入る前のゴミとすでに入ってしまった後のゴミを効率的に回収しています。これは海ゴミを減らし、魚が釣りゴミに引っかかって命を落とすことを防ぐことを目的としています。海中ではスキューバダイビングを用いて清掃を行い、回収した釣りゴミのおもりを溶かして再利用し、ダイビングの浮力調整に用いるウェイトへ作り替えています。また、多くのイベントに参加し、海洋ゴミ問題の認知拡大にも取り組んでいます。

## 活動内容

### 海中清掃



「海洋から支える  
海洋環境」

海中清掃では、スキューバダイビングで海に潜り、海底にあるゴミを回収しています。特に多いのは、根がかりして失われた釣り具です。回収した釣り具の中にあるおもりは、廃棄せず、ダイビング時に使用するウェイトとして作り替え、再利用しています。海をきれいにするだけでなく、回収物を活かす工夫を通して、環境への負荷を減らす活動にも取り組んでいます。

### 海岸清掃



「海岸から守る  
海的环境」

海岸清掃では、三保飛行場周辺や真崎海岸を中心に、海岸に落ちているゴミを回収しています。特に多いのは家庭ゴミで、時には海外から流れ着いたゴミが見られることもあります。これらのゴミが再び海へ流れ出してしまう前に回収することを意識し、海洋ごみの発生を防ぐ取り組みを行っています。

## イベント

三保の海以外でも、  
綺麗な海を守るために多くの  
イベントに参加しています!!

### 海洋プラスチックアート



### うみんちゅラボ



### 三保の松葉清掃



### オープンキャンパス

### 本栖湖清掃



### サイエンスマルシェ



### 由比ワカメ漁



### 建学祭



### 日本海洋人間学会



### TOKAIフェスタ



### 稚魚放流

ふりがな 河川名	三保の海ほか	ポイントとなるキーワード (5点以内)
所在地	静岡県 静岡市 清水区折戸3丁目20-1	海中清掃、海岸清掃、リメイク活動、三保、景観保全
応募者名 所属	満田かなん 東海大学 海中美化プロジェクト	(記入不要) エントリーNo.





「地域防災力の向上」をテーマに  
災害のリスクを減らすシステムづくりに  
取り組んでいます


リアルタイム情報収集システム(映像・センサー)  
災害情報システム・セキュリティ対策



# 有限会社 アーク

〒410-0022 静岡県沼津市大岡2435-1  
TEL 055-929-8000 FAX 055-929-8001

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント—人と地球の未来のために—

 いであ株式会社

## 環境創造研究所

—人と自然が調和した安全・安心で快適な環境の創造をめざして—

〒421-0212 静岡県焼津市利右衛門 1334-5  
TEL054-622-9551(代表)

本社

〒154-8585 東京都世田谷区駒沢 3-15-1  
TEL03-4544-7600(代表)  
ホームページ <http://ideacon.jp/>



駿河湾の本物お魚図鑑

毎年夏休みに生き物観察や化学実験などの体験学習会

「なつやすみ! こども環境塾」を開催しています。

今年の開催については下記 URL に掲載予定です。

<https://www.ideacon.co.jp/news/2025/>

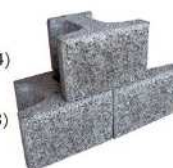


自然・環境と調和する「安心」を提供いたします

## 株式会社 イワタ

〒424-0065  
静岡県静岡市清水区長崎300番地  
TEL 054-345-1172  
・営業部・静岡営業所・浜松営業所・愛知営業所・大須買工場  
<http://www.iwata-kk.co.jp/lsp/>

スプリットブロック 風来Ⅱ (明度4.5)  
(輝度の標準偏差 平均64)  
スプリットブロック 天城 (明度5.0)  
(輝度の標準偏差 平均43)



日本の伝統漁法、しばあげ漁(麻機遊水地にて)

麻機遊水地保全活用推進協議会を応援しています。

facebookはこちら↑

その先にある笑顔をつくるために。

We walk together

## 昭和設計 株式会社

建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量調査・地質調査



本社 〒420-0006 静岡県葵区若松町 41 番地の 1  
TEL (054) 252-1820 (代) FAX (054) 252-1840  
E-mail [info@shizuoka-showa.co.jp](mailto:info@shizuoka-showa.co.jp)  
営業所: 富士市・袋井市・沼津市・焼津市・藤枝市・島田市・掛川市  
磐田市



HPはこちら↑



**楽しく元気な街づくり!**

**信建工業株式会社**  
 本社・工場／静岡県静岡市葵区千代1丁目18番29号  
 〒421-1212 TEL.054-276-2151 FAX.054-276-2154

詳しくはウェブサイトを見てね!




生物生息場形成用『石倉カゴ』

ポリエステルモノフィラメント亀甲網で造った**耐久性のある樹脂製カゴ**が、**金属と違い、10年20年にわたるウナギとの付き合いを可能にする**。伝統漁法である**石倉漁**と伝統土木工法である**蛇カゴ**の長所を組み合わせで造った、**ウナギと餌生物の生息場所**。





特許出願済



石倉カゴの設置



↑石倉カゴを棲み処にし、捕獲されたウナギ40個体

製造・販売  
**FUTABA 株式会社フタバコーポ**  
 〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町1-6-4  
 TEL.054-352-1116 FAX.054-352-4085  
<http://www.futaba-k.co.jp>

**MC防水ウォール**

洪水被害から**生命と財産**を守ります

安心・安全なまちづくりに貢献する




**丸栄コンクリート工業株式会社**

■静岡支店 TEL <0537>72-2221

- 沼津営業所 TEL <055>926-3811
- 静岡営業所 TEL <054>287-5088
- 掛川営業所 TEL <0537>72-2221
- 浜松営業所 TEL <053>460-6661



協 賛

静岡県河川協会

有限会社 アーク

いであ株式会社 環境創造研究所

株式会社 イワタ

昭和設計株式会社

信建工業株式会社

株式会社フタバコーケン

丸栄コンクリート工業株式会社

